



照明探偵団通信

vol. 50 Shomei Tanteidan Tsu-shin

第5回：こどもワークショップ

『暗さ体験ライトアップニンジャ@江戸東京たてもの園』

板倉厚+三宅博之+東悟子

2011.10.22

■今回のワークショップの主旨

現代の子供たちは、生まれながらに大量の光に苛まれています。子供たちに僅かなあかりの大切さを実感してもらいたい。美しい闇や陰影を体験してもらいたい。そして、ろうそくや囲炉裏の暖かい火に接しながら、同時にLEDやレーザーなどのハイテク光にも触ってほしい。皆で楽しくあかりや陰影について実証的に学習することを企画の趣旨としておこないました。

■行灯制作

武蔵野美術大学空間演出デザイン学科、面出ゼミの学生5名の協力のもと、こどもオリジナル行灯を作成。テーマは「たてもの」と「動物」。上は5年生から下はよちよち歩きの1歳児まで、幅広い年齢層のこども達が思い思いの夢の家や動物の住む世界を表現しました。ガラスのコップに厚手トレーシングペーパーを円筒形に巻きつけ、その上を色とりどりのセロファンやカラーペンで装飾しました。大人が手伝おうとするのを嫌がって泣き叫ぶ子や、そんな周りの喧騒も意に介せず、黙々と集中して製作に取り組む子。小さくても自分一人で作品を完成させたいと、みんな熱心に作業していました。出来上がった行灯に火をとくと、トレーシングペーパーからもれてくる暖かな灯りに、こども達もにっこり。誇らしげに見せ合ったり、写真を取り合ったりしていました。

(東悟子)

■行灯パレード

それぞれのオリジナル行灯を完成させた子供たちは夜のたてもの園に繰り出しました。冬季は4時半には閉園してしまうたてもの園はひっそりと静まり返り、虫の音が大きく聞こえます。管理用の照明を消してもらって真っ暗な中を行灯の光だけですすみですが、怖がる子はいないようでした。少し明るい所まで来るとそこには都電の旧車両。角を曲がるとそこは江戸時代の夜の街です。文具店に荒物屋、旅籠にお醤油屋さん。見慣れない街並みに興奮の子供たちは、一つ一つのお店を覗き込んでいきます。突き当りには「千と千尋の神隠し」の湯屋のモデルとなった銭湯の子宝湯。趣のあるその建物の前に全員であつまって、集合写真を撮りました。

(三宅 博行)

東京都小金井市にある江戸東京たてもの園。江戸から昭和にかけての復元建築物を野外に展示している博物館。タイムスリップで過去に戻ったような錯覚を覚える異空間で、こども達と行灯をつくり、暗闇と囲炉裏を体験するワークショップを開催しました。



江戸東京たてもの園内マップ



黙々と理想の家を描いているこども達



楽しい行灯ができました



旧都電の前で

■暗闇体験 / ライトアップニンジャJr.

江戸の空間を抜けた先は、木々が茂る森。電灯が一つもない真っ暗な森の中の抜け道を、行灯を消して、入って行こうというのですから、こども達も大興奮。口では「怖くない!」と強がっていた子も、森を目の前に、直ぐに懐中電灯を点け、周りを照らしながら進みました。暗闇を自分が持っている明かりで照らすと、そこだけが闇から浮かび上がるという効果が楽しくて、そこかしこを照らしながら進みました。

■囲炉裏端でご飯

たてもの園の高橋さんと囲炉裏を囲んでのお弁当。囲炉裏の役割や、囲炉裏の上につってある魚の話、昔の建物の話など、こども達が聞いたことのなかった昔の話をたくさんしていただきました。いつもと違った雰囲気の中で、火を囲んでのおにぎりを食べるという“昔体験”は、大人の私達の心にも深く残る貴重な体験でした。(東悟子)

■感想

自屋外でのワークショップで雨が心配されましたが、皆の願いが叶ったのか、夕方には晴れ間がのぞき、晴れて外でワークショップが出来る事となりました。前半は屋内でのキャンドル行燈づくりで支給された紙に絵を描いたり、好きな形に切り取ったり、カラフルなフィルムを張り付けたりと、中には下書きから入る慎重な子供や、いきなり大胆にハサミで切りだす子、途中であきらめてお母さんに作ってもらう子など、それぞれが思い思いにランタンを作っていました。いよいよ、ランタンに火を灯すと、自分のランタンが創造しなかった姿で輝き出す様に歓声が上がっていました。皆、満足げな様子で自分の作品と撮影会をした後、自分のランタンを持って、真っ暗な園内の林の中を散策。闇に浮かぶ行列と子供たちの歓声は、まるで狐の嫁入りの様に怪しげで幻想的でした。(板倉 厚)

たてもの園では、今回のようなアーティスティックでロマンティックな企画というのはあまりなかったので、とても楽しみにしていました。子どもたちがみるみるうちに色あざやかにきれいでかわいい行灯を作っていくさまは、暗闇の中でどう光り輝いていくのかを考えると、本当にワクワクするものでした。そして闇の中で灯る光と、その光によって照らし出された子どもたちの顔や、灯を大事に抱える姿はとても印象的でした。暗がりのなかの人気のない街並みや、森のなかでは、もっと怖がってくれるかと期待していたのですが、見事に裏切られみんな楽しそうでした。子どもたち以上に楽しそうな面出さんも印象深かったです。家族でいろりを囲んだ団らんのひと時も子どもたちの暖かな思い出の一つとなりますよう願っています。(江戸東京たてもの園 高橋英久 窪田直子)



子宝湯の前で集合写真



江戸の街ヘタイムスリップ



闇の中を懐中電灯片手に探検



暗い園内を歩くこども達



懐中電灯でライトアップ



囲炉裏端でのお話会。炎だけで照らされた室内でもこども達が怖がることはありませんでした。

キャンドルナイト@マリーナベイ 2011

Candle Night at Marina Bay, Singapore 2011

上田夏子 + Chang Jun Biao

2011.11.05

「でんきを消してスローな夜を」をスローガンに、キャンドルを灯していつもと違った時間の過ごし方をしてみようと環境 NGO が中心となり、2003 年の夏から日本で始まったキャンドルナイト。そのムーブメントを受け、シンガポールで 2 回目となるキャンドルナイトがマライオンパークにて行われました。

シンガポール照明探偵団の主催で、マリーナベイにて昨年に引き続き、第2回目のキャンドルナイトを開催しました。雨季に入ったシンガポールで奇跡的にお天気に恵まれ、日本からの美大生、地元のアートスクールや建築学科の学生と共にキャンドルインсталレーションをブロムナード沿いに展開し、周辺の飲食店から回収したリサイクル用品を使ってランタン作成をするキャンドルキオスクを設けて、子供から大人まで総勢 1000 人の参加者が集いました。キャンドルパレードには、在シンガポール日本大使館の山本公使にもご参加いただき、美しいろうそくの光がマライオンパーク周辺を美しく照らしました。

■事前ワークショップ@ Japan Creative Centre

イベント前日の 11 月 4 日に面出団長による日本の陰影についてのレクチュアとランタンワークショップがジャパンクリエイティブセンターにて行われました。約 50 名の建築関係の学生や社会人みなさんが参加し、レクチュア後、用意されたリサイクルマテリアルを使用して、オリジナルのランタンを制作しました。

■イベント 4 本柱

マライオンパークとカフェレストランがあるワンフロン周辺にて、①ランタンワークショップ@キャンドルキオスク、②キャンドルパレード、③キャンドルアートインсталレーション、④キャンドルカフェレストランの主に 4 種類のインсталレーションが行われました。

■ランタンワークショップ@キャンドルキオスク

訪れた人がオリジナルランタンを作成できるキャンドルキオスクがマライオンの横に設置され、招待された日本人小学校の 1 年 2 組のお友達とシンガポールの有名ブロガーとご家族およそ 200 名とたくさんの方の一般参加、家族連れの参加者で賑わいました。またキオスクテーブルでは、ランタンづくりのほかに、シンガポールに滞在中の日本人アーティスト・ミヤザキケンスケさんによる「被災地のこどもたちにメッセージをおくるワークショップ」や、キャンドルナイトTシャツのチャリティー販売も行われました。

■キャンドルパレード

在シンガポール日本大使館の山本公使にもご参加いただき、キャンドルを灯したオリジナルランタンを手に持って、ブロムナード沿いのキャンドルアートイ



リサイクルマテリアルで作ったオリジナルランタンを手に持って集合写真



ランタンにキャンドルを灯して笑顔の参加者。JCC にて



キャンドルキオスクのワークショップ風景



気持ちを込めてつくったランタンを手に持った子供たち



在日日本大使館の山本公使



マーライオンの周辺に設置されたオリジナルランタン

ンスタレーションを眺めながら楽しくそぞろ歩きました。パレード後は、参加者のみなさんがランタンをマーライオンの足元に設置し、キャンドルの光が消灯されたマーライオンをやさしく照らし出しました。

■キャンドルアートインスタレーション

東京から武蔵野美術大学空間演出デザイン学科面出ゼミの学生、地元のアートスクール（Nanyang Academy of Fine Arts）や建築学科（National University of Singapore）の学生やシンガポール照明探偵団の団員がワンフラトンのカフェレストランから提供されたリサイクルマテリアルを使用して、プロムナード沿いに様々なキャンドルアートインスタレーションを設置しました。キャンドルインスタレーションの前で記念撮影をする人や、人だかりができるほどの賑わいをみせました。

■キャンドルナイトカフェ、レストラン

マリーナベイのプロムナード沿いのレストラン街ワンフラトンのお店に消灯や減灯にご協力していただきました。また美しいキャンドルが屋外のテラス席のテーブルの上に用意され、訪れた人がいつもと違った雰囲気です。

■広報

Webでは照明探偵団のホームページの他にFacebookのアカウントを作成して、イベント内容の掲載をおこないました。またイベントアイテムも作成し、各拠点で設置、配布を行いました。イベント後には、イベントに参加していただいたみなさんに沢山の素敵な写真や感想を、ブログやフェイスブックに掲載していただきました。

（上田夏子）



空き缶を使用した缶ドールインスタレーション。購入希望の声も



たくさんのご家族に楽しく過ごしていただきました



シンガポール名物チリクラブのカニ



屋外のテラス席のテーブル



いつもと違ったブルーの光で幻想的に照らし出されました

■ Candle Night @ Marina Bay 2011

The 2nd Candle Night event in Singapore was held around the Merlion Park and One Fullerton on 5th November 2011. Japanese art university students, local students and several LPA staff created candle installations along the promenade. Many of the installations were visually interesting, which aroused the interest of many participants who were keen to learn what Candle Night is all about and the background behind the event. It could have been better if more information about the artworks and event was made available, to enable people to gain a better understanding of and increase their enjoyment of Candle Night.

The Singapore Lighting Detectives also conducted lantern-making workshops using recyclable materials collected from the F&B outlets, which were turned into lanterns of varying shapes and colours by public participants. In addition, several bloggers were invited to take part this year, which garnered much internet coverage for Candle Night both before and after the event. There was significant publicity generated through the online channels, whether it was blogs, websites or Facebook pages, especially post-event when thousands of photos were uploaded. Public participants could even share the photos they took and posted comments, with a lot of them expressing support and positive feedback about the event.

The candle parade around the promenade started and ended at the Merlion Park. Many children and their parents showed off the beautiful lanterns they created and interacted with the various installations, after which participants were encouraged to create their own installation by placing their lanterns around the Merlion.

An estimated total of 1000 participants, from young children to adults, turned up for the event.

(Chang Jun Biao)

Sponsors:

Krislite Pte Ltd
Strongly Lighting Pte Ltd
Technolite (S) Pte Ltd
Bizlink Associates Pte Ltd
Lutron GL Ltd
Luxlight Pte Ltd
ERCO Lighting Pte Ltd
Million Lighting Co. Pte Ltd



沢山のご参加、ありがとうございました！



子供たちと様々なデザインのランタンがブ
ロムナードに彩りを添えました



(上) 武蔵野美術大学の学生作品
(下) 地元のアートスクールの学生作品



フライヤー、Tシャツ、キャンドルバッグ



ポスター

【照明探偵団の活動は以下の 20 社にご協賛頂いております。】

ルートロンアスカ株式会社
岩崎電気株式会社
カラーキネティクス・ジャパン株式会社
株式会社遠藤照明
エルコライティング株式会社
パナソニック電工株式会社
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
マックスレイ株式会社
ヤマギワ株式会社
コイズミ照明株式会社
タルジェットイ ポールセン ジャパン株式会社
東芝ライテック株式会社
マーチンプロフェッショナルジャパン株式会社
湘南工作販売株式会社
トキ・コーポレーション株式会社
DN ライティング株式会社
株式会社ウシオスペース
山田照明株式会社
三菱電機照明株式会社
森山産業株式会社



探偵団通信に関してのご意見・ご感想等随時受付中です！
お気軽に事務局までご連絡ください。